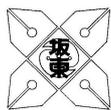


令和6年度

伊勢崎市立坂東小学校



学校通信

ばんどうたろう

坂東太郎



第 21号

令和6年9月2日(月)発行

校長 関根 崇史

子供たちが「真剣」に取り組み「感動」を味わい「成長」する二学期に

学校に子供たちの笑顔が戻ってきました。何よりもまず、夏休み中に大きな事故やトラブルがなく、みんなで二学期始業式を迎えられたことに安堵しました。と同時に、わずか40日余りで、ぐっと成長した子供たちの表情に驚かされました。

この夏休み、それぞれご家庭での大切な時間を過ごされたことと思います。旅行やレジャーを楽しんだ子、祖父母や親戚等との再会を懐かしんだ子、自由研究に打ち込んだ子、習い事やクラブ活動などで頑張った子、読書をたくさんした子、学習に励んだ子など、過ごし方は様々だったでしょうが、学校ではできない様々な体験を通して、二学期に向けての活力が蓄えられたに違いありません。



いよいよ始まった二学期は、1年生の旅行(桐ヶ岡動物公園)、2年生の校外学習(市図書館・市民プラザ)、3年生の社会科見学(県庁・歴史博物館)、4年生の社会科見学(たくみの里)、5年生の社会科見学(向井千秋記念館・桐生織物参考館)、6年生の修学旅行(鎌倉方面)、陸上記録会(5, 6年生希望者)、運動会、小中特支合同音楽会(4年生参加)、持久走大会など、多くの行事があります。

日常の学習はもちろんのこと、一つ一つの行事や取り組みにおいて、子供たちが「感動」を味わえるように導いていけたらと考えています。「感動」は人を成長させます。行事や取り組みにおいて感動できるかどうかは、その過程においてどれほど「真剣」であったかに関わってきます。手を抜いて、いい加減に取り組んだのでは、感動も成長もありません。何事にも「真剣」に取り組み、だからこそ味わえる「感動」と、そこにある「成長」を積み重ねていくことが、子供たちのこれからの人生を支える土台となっていきます。そして、そういった経験が多ければ多いほど、自分を支える土台は強く大きくなっていきます。つらいことや苦しいことがあったとしても、しっかりとした土台ができていれば、ゆらぐことなく、乗り越えていくことができるのです。

教職員も一丸となって「真剣」に教育活動に向き合い、子供たちと「感動」を共有していけるよう指導にあたっていきます。保護者や地域の皆様におかれましても、今後ともご理解、ご協力、お力添えをいただけますよう、よろしくお願いいたします。

熱中症対策、台風などの風水害対策、基本的な感染症予防対策など、健康・安全を守る取り組みにも、引き続き注意を払っていきます。長期休業明けは、子供たちの心が不安定になりやすいともいわれています。お子様の様子で心配なことがある場合などは、遠慮なく学校にご相談ください。

二学期も学校Webページにて子供たちの「活動の様子」をご確認ください

5月中旬より、授業がある日については一日もか欠かすことなく「活動の様子」(坂東小学校日記)をアップしてきました。今学期も、子供たちがどのような学校生活を送っているか、教職員がどのような思いで子供たちと向き合っているか等が伝わるように情報発信していきます。



URL: <http://www.isesaki-school.ed.jp/bandousyo/>

9月からは「令和6年度 二学期」のページに情報をアップしていきます。一学期から夏休み期間中の内容は「令和6年度 一学期」のページで引き続き閲覧することができます。パソコンの場合は「活動の様子」を開き、右上にある「令和6年度 一学期」「令和6年度 二学期」をクリック(選択)することで切り替わります。スマホ等の場合には「活動の様子」を開き、左上にある「≡」をタッチ(選択)し、そこから切り替えができます。離れた場所からでも、坂東小学校の空気を感じていただけたらと思っていますので、すき間時間等を利用して気軽にご覧ください。